**CITY TOPICS　まちの話題や出来事、ニュースをお届けします！**

**「江合川かわまちづくり計画登録証伝達式」を行いました**

8月28日、「江合川かわまちづくり計画登録証伝達式」を行いました。

令和5年1月、古川地域桜ノ目地区の地域住民や地元企業、大崎地域広域行政事務組合、市を構成メンバーとして「江合川かわまちづくり協議会」が設立されました。

協議会は、水辺環境を利用した環境整備について、後世に誇れる協働のまちづくりを目的に、「江合川かわまちづくり計画」を策定し、市を経由して国の「かわまちづくり支援制度」に申請しました。8月8日に、本計画が支援制度に登録され、国土交通省東北地方整備局から市へ登録証が伝達されました。これにより、国の支援を受け、本計画のさらなる促進が見込まれます。

今年度は、本計画を含む22カ所の「かわまちづくり計画」が支援制度に登録され、全国で286カ所の登録数となりました。

今後は、「かわカフェ」やジョギング体験会、防災安全教室の開催、バーベキューやグラウンドゴルフなどが行える芝生広場などを整備し、交流人口の拡大につながる、水辺と親しめる拠点を創出していきます。

江合川かわまちづくり協議会会長の 氏は「子どもたちが親と一緒に楽しく水を知る、川を知る環境を整備していきたい」と決意を述べました。

これらの整備は、令和11年度に完成する予定です。親水空間との共生が期待されます。

写真：継続的な水辺のにぎわい創出を目指します。

写真：江合川かわまちづくり計画登録証

**「おおさき高校生タウンミーティング」×「おおさき宝さがし未来トーク」を開催しました**

8月5日、市役所本庁舎1階市民交流エリア屋内広場「パタ崎さん」で「おおさき高校生タウンミーティング」×「おおさき宝さがし未来トーク」を開催しました。

これからの地域を担う若者を育成していく事業の一環として、高校生が地域づくりに参加し、市が抱える問題などについて自由に話し合い、提案することで、本市への関心を高めてもらうことを目的としています。

青森大学社会学部教授の佐藤 氏をファシリテーターに迎え、市内9校から参加した38人の高校生が「私たちがつくる20年後の大崎市の未来～大崎市こども計画策定に向けて～」をテーマに、10グループに分かれて意見を交わしました。

最後に各グループの代表者が自分の意見を発表しました。「これから生まれてくる子どもたちが大人になっても住みたくなるようなまちであり続けてほしい」などの将来への熱い思いが述べられました。また、そのためには「自分たちが大崎市の良さを知って好きになり、それを他の人たちに伝えていくことで魅力的なまちになり、住みたいまちになっていくと思う」などの発言がありました。

今回出された意見は、今年度策定予定の「大崎市こども計画」に生かされます。

当日の様子は市公式Youtubeから視聴できます。

写真：伊藤市長と高校生が将来の大崎市について熱く語り合いました

写真：自分たちの思い描く20年後の大崎市を発表する高校生